

新時代へのチャレンジ！輝竜の郷づくり懇談会での意見や質問と町の考え方（順不同）

【意見シートでいただいた意見 155件】

2022. 6. 1

意見シートにご記入いただいた内容は、可能な限り原文のまま掲載しています。

No.	分類	質問・意見等	質問・意見に対する考え方
1	第六次竜王町総合計画	住みたいけど「住めない、魅力がない、利便性が悪い」この理由が大多数だと思います。是非、他の地域の方が「竜王ええなあ」とうらやましがられる町づくりをお願いします。	若者をはじめ、竜王町に関わる全ての方が住みたい、住み続けたいと思っていただき、町内外から魅力的な町と言われるよう、10年後のあるべき姿の実現に向け、しっかりとまちづくりを進めます。
2	竜王町コンパクトシティ化構想	ネーミングが悪くて一極集中としてとらえる方もありました。本音を言えば「竜王が本気出して住みたい町にしてみた」という所でしょうか。ネーミングは仕方ありませんね。	竜王町コンパクトシティ化構想は、竜王町独自の考え方で町全体の発展を掲げた構想であることを町民の皆さまにご理解いただけるよう、引き続き工夫をしながら情報の発信に努めます。
3	竜王小学校の整備	建て替えると同時に住宅地や利便性を高める一石二鳥の考え方はいいと思います。ただし、費用がかかる部分については慎重に願います。	交流・文教ゾーンの整備については、国等の補助金や基金（積立金）、起債（借入金）により必要な費用を賄うこととなりますが、町の財政規模からは通常範囲内と考えています。なお、事業費の抑制や可能な限り財源の確保を図りつつ事業を進めてまいります。
4	その他	このままでは竜王は消えてしまうと思います。今、生まれた人がこのまま住み続けられる場所・モデル（見本）、原因究明を引き続きお願いします。	引き続き研究しながら若者をはじめ、竜王町に関わる全ての方が住みたい、住み続けたいと思えるよう、10年後のあるべき姿の実現に向け、しっかりとまちづくりを進めます。
5	竜王小学校の整備	西小学校との統合が行われると思っている住民さんが一定数います。そうではないことをハッキリと打ち出す姿勢も大切であると思います。	西小学校は、西地区のコミュニティの中心として捉えているので、現時点において西小学校を統合する計画はございません。現在の子どもの数では統合する規模ではないことから、大規模改修時に、子どもの数や人口動態、西小学区の声も聴いて、改めて考えてまいります。
6	その他	10ページにある2020年の人口”11,887人”は住民基本台帳上の数値だと思いますが、社人研推計が国勢調査に基づくため、同様に2020年の国勢調査の数値を人口として示すべきではないでしょうか。11,789人です。	国勢調査は5年ごとの数値しか得られないため、第六次竜王町総合計画策定時には最新のデータとして住民基本台帳の数値を使用しました。今後の人口の見通しは、国勢調査を基本としつつ住民基本台帳の数値も加味しながら考えてまいります。
7	竜王町コンパクトシティ化構想	交流・文教ゾーンの整備について、ゾーンの中にコミュニティセンターが計画されていますが、以前タウンセンター会議の中で公民館の改修工事の時に公民館をコミュニティセンターとして利用することになっていましたが、今度のコミュニティセンターとの違いは何か。近江八幡学区内にある町ぐるみ協議会（町協）による運営と考えてよいか。	竜王町コンパクトシティ化構想では、地域コミュニティの維持・活性化を取組項目に掲げ、地域コミュニティの柱である自治会の活性化を進めます。その活動拠点としてコミュニティセンターを考えており、運営については本町にふさわしい組織体制を考えております。今後、検討を進める中で公民館のあり方についても考えてまいります。
8	竜王小学校の整備	竜王小学校整備にあたり、現状、用地取得も終わり、地籍調査中と思われます。このエリアを町民の皆様にお知らせする意味で建設工事に入る前に、できれば昔平和堂が出来る前にコスモスを育ててイベントを開催しました。アピールの意味でも何かイベントが出来ないか。	交流・文教ゾーンの用地については、令和4年度の取得を予定しています。町民皆様に親しまれる交流拠点となるよう、当該構想のPRについても検討してまいります。
9	竜王町コンパクトシティ化構想	考え方はもっともと思いますが、これによって今の集落がどんどん人口減になるのも悲しいことです。10年後に空き家がどれだけ増えているだろうと思うと切実な問題です。空き家をどう活かしていくか、問題のある空き家をスムーズに整理して、新しい住宅が建てられるようそんな施策にも力を入れていただきたいです。	集落内の空き家については、所有者による適切な管理を促し、その利活用については空き家バンクの活用などを図ってまいります。町内の若者が町外に転出することなく、町内に留まるよう小学校跡地を住宅地として整備する計画をしています。
10	第六次竜王町総合計画	賢明だと思います。全体の計画に加えて、個々の充実もお願いします。	すべての町民の希望をかなえ暮らし続けられるまちとなるよう努力してまいります。
11	竜王町コンパクトシティ化構想	一極集中は効率的で良いことです。ただ、集中する区画の周辺もそれに準じて整備が必要ではないですか。田中、島、駕輿丁あたりのインフラ整備もよろしくお願いします。	竜王町コンパクトシティ化構想は、中心部だけを活性化するのではなく、町全体のバランスの取れた発展をめざすものです。周辺集落においても、地域の維持活性化に向け、必要な整備を行ってまいります。
12	竜王小学校の整備	小学校の移転が令和7年。その3年後には西小学校の補修整備に着手との説明ですが「統合することは計画していない」のはなぜでしょうか。出生率が急速に低下している中、検討すべきだと思いますが。	西小学校は、西地区のコミュニティの中心として捉えているので、現時点において西小学校を統合する計画はございません。現在の子どもの数では統合する規模ではないことから、大規模改修時に、子どもの数や人口動態、西小学区の声も聴いて、改めて考えてまいります。

No.	分類	質問・意見等	質問・意見に対する考え方
13	竜王町コンパクトシティ化構想	<p>竜王町コンパクトシティ化の目的は何ですか。広報Ryuo12月号の4ページを見て下さい。左上の棒グラフで、2010年12000人あった人口が2015年には11000人と約1000人減少しています。若い世代の人口が減り高齢化率が上がっています。2030年の竜王町の人口減少が予測されます。まち全体の力の低下が進んでいます。生活の利便性向上と魅力づくり、安心して暮ら続けられる地域づくりが必要。竜王町コンパクトシティ化構想を進めます。本当にそうでしょうか。箱もの（小学校とこども園）を作れば減少続ける人口に歯止めをかけることができるのでしょうか。定住してくれる若者を増やすことは難しいのでしょうか。2010年から2015年に転出された約1000人の要員分析結果を教えてください。例：死亡、子育てが難しい、結婚、転勤、都会に住みたい、住居が見つからない</p> <p>人口減少の要因が明確になっていないので竜王町コンパクトシティ化構想を取りやめ人口増加策に切り替える。周りの市町村も同様に人口減少しているので共同でアイデアを募る。子育て支援、外国人労働者受け入れ、減税、補助金</p>	<p>竜王町コンパクトシティ化構想は、中心部だけを活性化化するのではなく、町全体のバランスの取れた発展と町内外から魅力を感じてもらえるまちを創っていくことを目的としております。</p> <p>小学校やこども園の移転新築は、老朽化した施設の更新であり、これらとあわせて町内外の方にとって、まちの魅力を高めることにより、特に若者の転出抑制をめざしております。</p> <p>現在、土地利用の規制から住宅整備が難しい中で必要な住宅地を確保するため、小学校等の跡地を戦略的に活用してまいります。</p>
14	竜王町コンパクトシティ化構想	<p>竜王町コンパクトシティ化構想の予算について 竜王町コンパクトシティ化構想全体の予算は提示いただけますか 小学校新築（30億円）を含んで55億円と提示されていますが明細はどうなっていますか 1反当り650万円との噂がありますが本当ですか。単価が決まった経緯を教えてください。購入対象外は2、3万円と聞いています。おかしいとは思いませんか。紛争の火種になりませんか。リース契約だと思いますがフレンドマート竜王店の契約金額はいくらですか。</p>	<p>竜王町コンパクトシティ化構想（交流・文教ゾーン整備）に係る費用は、次のとおり試算しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校建設費用…30億円</li> <li>・その他施設建設費用…12.6億円</li> <li>・用地取得・造成費用…7.4億円</li> <li>・道路・インフラ整備費用…5.0億円</li> </ul> <p>必要な用地については、不動産鑑定士の評価を基に妥当な価格により取得します。小学校は建設後最低でも40年から50年は使用するので、公共施設の土地をリースすることは一般的でなく、取得となります。</p>
15	竜王町コンパクトシティ化構想	<p>竜王町コンパクトシティ化構想の返済計画はどうなっていますか 土地、建物の大半は50年前後のリース契約になり、返済後は竜王町の資産になるのですか 返済項目、返済時期、金額と返済方法が書かれた表（返済項目）税金、個人寄付、企業寄付、預金取り崩し、ふるさと納税</p>	<p>交流・文教ゾーンの整備は、国等の補助金や基金（積立金）、起債（借入金）により必要な費用を賄うこととなり、起債（借入金）はおおよそ35億円程度を見込んでおります。これに係る毎年の償還額は1億6千万円程度（30年償還）となりますが、町の財政規模からは通常範囲内です。</p> <p>償還金に係る財源は、企業誘致による新たな増収により賄えると考えております。</p>
16	竜王町コンパクトシティ化構想	<p>ハザードマップに該当するエリア 竜王町コンパクトシティ化エリアはハザードマップに該当します。竜王庁舎から約1m低いのが竜王フレンドマート、図書館そこから約1m低いのが竜王町コンパクトシティ化エリアです。どうしてこのエリアが選択されたのか経緯を教えてください。盛土に追加費用が掛かります。最低限でも竜王町庁舎南側に変更すべきです。</p>	<p>既存の竜王小学校やこども園、行政ゾーン、商業ゾーン、道路や上下水道等のインフラなど、一体的な土地利用を総合的に考慮し整備エリアを設定しております。その中で対応が可能な浸水深のエリアとしております。</p>
17	竜王小学校の整備	<p>小学校の建て替え移転に関して 平成29年11月から1年4カ月間協議を実施 竜王町教育施設今後の在り方検討委員会の報告書では校舎の老朽化と校舎の配置上の課題。駐車場が狭いこと、土地の拡張が難しいこと、図書館近くに校舎の新築移転が望ましいと書かれています。平成31年2月に町長に結果報告 令和元年7月リーディングプロジェクトで小学校の移転新築を決定 リーディングプロジェクトには現状建物の対応年数を判断できる人は含まれていますか。結果は何年でしたか。寿命延長する場合の年数と金額を教えてください。現行小学校跡を含めて検討された建て替え候補地を教えてください。</p>	<p>竜王町教育施設の今後のあり方検討委員会の検討結果では、施設の老朽化や校舎の配置上の課題を解決し、新しい時代の教育をコンセプトとし、これを実現できる教育環境を整えるためには、既存校舎の長寿命化改修では限界があるため、建て替えによる新築が求められるとされております。</p> <p>これを受け、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿命化改修ではなく、建て替えとする。</li> <li>・当面は竜王西小学校との統合は考慮しない。</li> <li>・防災・コミュニティ等の機能を併設した複合施設とし、他の教育施設の立地も想定しながら、学びと交流を生み出す。</li> <li>・現在の場所では敷地拡大に制限があることから、公民館・図書館等との相乗効果を期待し、中心核に建て替え</li> <li>・令和7年の開校をめざす。</li> </ul> <p>以上の5点を町の方針として固めております。</p>
18	その他	<p>前回の会議で出された意見に抽象的な返答されていますが、期日の入った具体的な返答をいただけますか。</p>	<p>可能な限り、丁寧な回答に努めます。</p>

No.	分類	質問・意見等	質問・意見に対する考え方
19	竜王町コンパクトシティ化構想	人口減少が進む中で中心核を整備するために借金を後世に残してはならない。町の体力が持ちこたえられるか。	交流・文教ゾーンの整備は、国等の補助金や基金（積立金）、起債（借入金）により必要な費用を賄うこととなり、起債（借入金）はおおよそ35億円程度を見込んでおります。これに係る毎年の償還額は1億6千万円程度（30年償還）となりますが、町の財政規模からは通常の範囲内です。 なお、長期に渡って使用する公共施設については世代間負担の均衡を保つため、一般的に起債を活用することとなりますが、事業費の抑制や可能な限り財源の確保を図りつつ事業を進めてまいります。
20	竜王町コンパクトシティ化構想	特に西地区の住民は中心核を整備すると言っても、何をやるの、何のメリットがあるの、と言った冷めた気持ちを持っている人が多い。 もっと若い人達を取り込むべき、年配者は完成を見る事なくこの世を去って行く。	まちの魅力をさらに高め、人口減少の課題を克服し、将来にわたって竜王町が持続していくためには、行政はもとより、町民の皆さまや全地域、企業など町に関わる全ての人の思いが一丸となってまちづくりを進めなければ、その実現は難しいと考えますので、丁寧に情報を発信し、まち全体の機運を高めます。
21	竜王町コンパクトシティ化構想	老朽化が進む小学校とそれに付随する施設の移転、建替えはいたしかたない。移転跡地利用、対価に合った方向性を早急に示すべき。空地にしてはならない。	移転新築後の跡地利用については、早期に活用が図れるよう並行して検討を進めてまいります。
22	竜王町コンパクトシティ化構想	既存する集落で抱える問題（道路整備、水路整備等）を洗い出してまず住み良い集落を作る事、何をさておいても優先すべき。	竜王町コンパクトシティ化構想は中心部だけを活性化させるものではなく、町全体のバランスの取れた発展をめざすものです。既存集落の生活環境においても、地域の維持活性化に向け、必要な整備を行ってまいります。
23	その他	企業誘致を積極的に進めているが、それに対する弊害の除去（特に交通問題）と、そこの働く人達の定住促進が図れていない、現状では自然減少の方が多い。 山面、鏡、工業団地などの大型車両、従業員車両の増加が顕著である。	第六次竜王町総合計画における土地利用構想図では、一定の期間を要しますが、幹線道路のバイパス化を位置付けており、そのことにより通勤や物流車両などのスムーズな移動を図ってまいりたいと考えております。 また、小学校等跡地を戦略的に住宅地を整備することにより、町内在勤者の定住に繋げてまいります。
24	竜王小学校の整備	竜王小学校の移転新築予定地は、ハザードマップで浸水想定がされていますが、対策は講じるのか。	竜王小学校は災害時には避難所となる施設であり、河川の氾濫だけでなく、内水による浸水を想定した滋賀県地先の安全度マップによる最大浸水深を想定し、盛土による造成や惣四郎川との間に管理用通路を設けるなどの対策を講じます。
25	第六次竜王町総合計画	竜王町としての課題である人口減少、少子高齢化に対して10年後のあるべき姿はよく理解できました。ただ、企業の代表としては社員が移住したくなるような施策が欲しいですね。	まちの魅力をさらに高め、人口減少の課題を克服し、将来にわたって竜王町が持続していくためには、行政はもとより、町民の皆さまや全地域、企業など町に関わる全ての人の思いが一丸となってまちづくりを進めなければ、その実現は難しいと考えます。 また、小学校等跡地を戦略的に住宅地として整備するなど、より実効性ある取組みにより、町内在勤者の定住に繋げてまいります。
26	竜王町コンパクトシティ化構想	移転建築し、旧小学校跡地に住宅地を導入されることは、住む場所が少ない竜王町としては願ってもない事だと思います。他の市町がうらやましくなる住宅地にしてください。	若者をはじめ、竜王町に関わる全ての人が住みたい、住み続けたいと思えるよう、町内外の方にとって、魅力的な居住ゾーンとして整備してまいります。
27	その他	行政の方と直接、お話しさせていただく機会は、企業としては切望しております。積極的にお声かけください。	まちの魅力をさらに高め、人口減少の課題を克服し、将来にわたって竜王町が持続していくためには、行政はもとより、町民の皆さまや全地域、企業など町に関わる全ての人の思いが一丸となってまちづくりを進めなければ、その実現は難しいと考えます。 そのために企業も含めた丁寧な情報発信に努めてまいります。
28	第六次竜王町総合計画	道路整備をやってほしい。（歩道のないところ）	町全体のバランスの取れた発展をめざすため、優先順位を付けつつ、交通安全面にも留意し必要な整備を行ってまいります。
29	竜王町コンパクトシティ化構想	町の持っている土地を住宅地にしてほしい。	現在、未利用となっている町有地は住宅整備にとって有効な資源であることから、順次検討を進めてまいります。
30	竜王小学校の整備	すぐにやってもらいたい。	お示した計画に基づき、着実に進めてまいります。
31	その他	竜王西幼稚園にあるボルダリングを有効活用してもらいたい。	西幼稚園のボルダリング施設は、竜王こども園開園に伴い移設しました。園児が遊びを通して成長段階に応じて運動の基礎づくりができるよう利用します。

No.	分類	質問・意見等	質問・意見に対する考え方
32	竜王小学校の整備	小学校と学童保育所の工事・開所の時期に2年の差があります。その間、旧の竜小の学童保育所を使うことになるのでしょうか。少し無理をしても、同時に移転の方が、利便性はもちろん竜小跡地の整備が早く進められるのではないのでしょうか。	交流・文教ゾーンの整備については、随時、最善の方法や最適な時期を考えていますが、いただいたご意見を踏まえ、小学校の開校と学童保育所の開所が同時期となるよう全体スケジュールを調整するとともに、他の施設についても施設間の連携を考慮し、一貫性を持って進めます。
33	竜王町コンパクトシティ化構想	並行して行える事業は考えて進める方が良いと思う。高齢者が増加することも加味するなら、しっかりとバリアフリーに！	多世代で多くの方が利用いただくことを前提として、誰もが使いやすい環境を整えてまいります。
34	竜王小学校の整備	ソフト面につながる事も考えて進めてほしい。	教育環境の整備とあわせ、これまで進めてきた基礎学力の定着や英語教育、心の教育、健康体力づくり、コミュニティスクールなどの取組を発展継続してまいります。
35	その他	スマートタウンの戸建てを進めるなら、町としてのメリットもデメリットも含めて知ってもらえる仕組みを！メーカーと町がコラボする。もっと町民に知ってもらうことも大事やと思います。	若者をはじめ、竜王町に関わる全ての方が住みたい、住み続けたいと思えるよう、町内外の方にとって、魅力的な居住ゾーンとして整備してまいります。あわせて、町の暮らしの良さをPRするシティプロモーション事業に取り組んでおり、積極的な情報発信に努めてまいります。
36	第六次竜王町総合計画	若者が住める住居を増設をする。（工業団地勤務者が住める所）	若者をはじめ、竜王町に関わる全ての方が住みたい、住み続けたいと思えるよう、町内外の方にとって、魅力的な居住ゾーンとして整備してまいります。
37	竜王町コンパクトシティ化構想	田中、綾戸間の道路拡幅を要望（通学と車道）	竜王町コンパクトシティ化構想は中心部だけを活性化するものではなく、町全体のバランスの取れた発展をめざすものです。周辺集落においても、地域の維持活性化に向け、必要な整備を行ってまいります。あわせて、児童が安全に登下校できる通学路を検討してまいります。
38	竜王小学校の整備	通学路の安全確保。車道と分離する。体育館はないのですか？計画図にはない。体力向上に要する。	新設道路（S路）については、歩道を設置し、交流・文教ゾーン内には車両の通行を制限することで児童の安全を確保してまいります。体育館は、校舎やプールとあわせ一体的に整備します。
39	その他	高齢者の交通手段・・・免許返納後の生活者が増加する。	現在、予約制乗合ワゴン「チョイソコリゅうおう」を運行しており、会員登録や積極的なご利用をお願いします。
40	その他	老人ホームの増設が必要	高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らすことができる体制を検討します。
41	その他	道路へのポイ捨てや万引き等、基本的な道徳教育の強化（低学年より）	社会のルールを守り、豊かな心を育む心の教育を継続してまいります。
42	その他	町民に負担がかからなかったら、すべてに賛同いたします。	交流・文教ゾーンの整備は、国等の補助金や基金（積立金）、起債（借入金）により必要な費用を賄うこととなりますが、町の財政規模からは通常の範囲内と考えていますので、計画の実現に向け着実に進めてまいります。
43	第六次竜王町総合計画	賛成します	今後も計画通り着実に進めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。
44	竜王町コンパクトシティ化構想	賛成します	今後も計画通り着実に進めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。
45	竜王小学校の整備	跡地について、住宅地（団地）として利用していただければよいと思います。近江八幡のエコ村の様に特色を出して売り出してみてもどうか？（例として、敷地は広く、太陽光パネルや家庭菜園ができる畑付き等）	若者をはじめ、竜王町に関わる全ての方が住みたい、住み続けたいと思えるよう、町内外の方にとって、魅力的な居住ゾーンとして整備してまいります。例えば、再生可能エネルギーの活用など時代に即した魅力的な住宅地を考えていきます。
46	第六次竜王町総合計画	PDCAサイクルによる進捗管理をしっかりとすべきである。	ご意見のとおり、進捗管理は大変重要であると考えております。PDCAサイクルによる進捗管理により、社会の変化に柔軟に対応してまいります。
47	竜王町コンパクトシティ化構想	竜王町の人口減少が他市町より進んでいる現状を鑑み、コンパクトシティ化構想は若者・高齢者も含め住みやすい場所の提供づくりということで賛成である。現状のままでは何もなければ周辺の市町に取り残されてしまう。先行投資は必要である。	町全体のバランスの取れた発展と利便性が高く、多様な交流を育む中心核を整備することで町内外から魅力を感じてもらえるまちを創ってまいります。そのために必要な投資を行ってまいります。
48	竜王小学校の整備	移転新築は教育環境の整備効果は勿論、竜王町全体の将来を考えての取組である。大きな視野に立って、コンパクトシティ化構想全体も併せてスピード感をもって進めて欲しい。校舎の新築については多額の財源を必要とすることから無駄のない有効的な設計をすべきである。	今後も計画通り着実に進めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。また、効率かつ効果的な施設となるよう整備を行ってまいります。

No.	分類	質問・意見等	質問・意見に対する考え方
49	その他	よくわかりました。全面的に協力します。がんばってください。	今後も計画通り着実に進めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。
50	第六次竜王町総合計画	このパンフレットは広報に入っていました。10年後のあるべき姿として若者も暮らしたい希望かなえる輝竜の郷について説明していただけてよかったです。	10年後のあるべき姿「若者も暮らしたい 希望かなえる 輝竜の郷」の実現に向け、各施策を積極的に展開してまいります。
51	竜王町コンパクトシティ化構想	カラー刷りで分かりやすい紙面だった上に詳しい説明があって聞いていただけて良かったと思います。	今後も分かりやすい情報提供を行ってまいります。
52	竜王小学校の整備	移転新築に向け策定委員会を設置して様々な視点から検討したことや期待できる効果などでわかりやすく説明していただいたので、広報や議会だよりでお知らせしていても言葉で説明いただくことより皆さんが理解して頂けたと思います。	今後も分かりやすい情報提供を行ってまいります。
53	その他	質問された事について分かりやすく説明されたので、今後私もそんな答えができるよう勉強になりました。パンフレットだけよりこのような場で説明を聞けば、より理解が深まると思いました。色々な質問内容が聞けてよかったです。色々な町の情報を聞いていただけたと思います。(高齢や障がい者のことも)	今回の懇談会では多くのご意見をいただきありがとうございました。今後もまちの情報を分かりやすく発信してまいります。
54	第六次竜王町総合計画	計画そのものに異議はなし。今後、計画通りに進捗することと期待する。	今後も計画通り着実に進めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。
55	竜王町コンパクトシティ化構想	中心核整備に関しては、財政面での計画が大切になると思う。	中心核(交流・文教ゾーン)の整備は、国等の補助金や基金(積立金)、起債(借入金)により必要な費用を賄うこととなりますが、町の財政規模からは通常範囲内と考えていますので、事業費の抑制や可能な限り財源の確保を図りつつ計画の実現に向け着実に進めてまいります。
56	第六次竜王町総合計画	人口減少、高齢化の中、将来の活性化をめざし、十分な検討会を開催して計画が示されているので実現に向けて進んでほしいと思います。	今後も計画通り着実に進めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。
57	竜王町コンパクトシティ化構想	利便性が高く、多様な交流を育む中心核をめざし、実現してください。	今後も計画通り着実に進めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。
58	竜王小学校の整備	絶対に必要だと思います。孫が二人小学校に通っています。色々、不便性、交通安全等含め早急な進行をお願いします。	地域とともにある学校を計画通り着実に進め、通学路についても、保護者や学校の意見を聞きながら安全安心を第一に考え進めてまいりますのでご協力をよろしくお願いいたします。
59	その他	小学校の新築等、反対意見等もあるようですが、反対意見の核心が見えません。気にせず推進しましょう！！	今後も計画通り着実に進めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。
60	竜王小学校の整備	進めて欲しい。資金作り、十分考えてほしい。	今後も計画通り着実に進めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。 交流・文教ゾーンの整備は、国等の補助金や基金(積立金)、起債(借入金)により必要な費用を賄うこととなりますが、町の財政規模からは通常範囲内です。 償還金に係る財源は、企業誘致による新たな増収により賄えると考えております。 なお、事業費の抑制や可能な限り財源の確保を図りつつ事業を進めてまいります。
61	その他	竜は大変良い発展の動物です。竜が輝くといいですね！！	「若者も暮らしたい 希望かなえる 輝竜の郷」の実現に向け、竜王町に関わる全ての人の希望がかなうよう、各施策を積極的に展開してまいります。
62	その他	町長の前向きなお話を聞かせてもらい非常によかったです。費用面の心配はありますが、次の時代に送らず、今の住民が何とかしたいものだと思います。たいへん、勉強になりました。	将来にわたって竜王町が持続していくためには、現在、町に関わる人々が先送りすることなく、ご意見とお知り自分事として考える必要があります。
63	その他	老人ホームの併設を検討ください。	中心核の整備に、老人ホームの整備は含まれていませんが、高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らすことができる体制を構築します。
64	第六次竜王町総合計画	若者とまちが両思いになるには、来てもらえる、残ってもらえる若者像を明確にしていく方がいいのではないかと。だれでもと最大公約数をねらうと個性が少なくなり、他のまちに負けてしまう。	町全体のバランスの取れた発展と利便性が高く、多様な交流を育む中心核を整備することで町内外から魅力を感じてもらえるまちを創るとともに若者の定住を図るためには、明確なコンセプトを示すことが大切であると考えます。

No.	分類	質問・意見等	質問・意見に対する考え方
65	竜王町コンパクトシティ化構想	年数の経った小学校を移転新築する必要は同意できる。ただ、1学年100人を下回るこれから2校いるかはもう少し早く判断すべきでは。西小の1学年30人を下回ったら（1クラスでは）教育環境は十分でないように感じる。中学、高校、社会に出た時に競争に負けてしまう。大人数の競争に慣れていないことに。	西小学校は、西地区のコミュニティの中心として捉えているので、大切に考えています。現在の子どもの数では統合する規模ではないことから、大規模改修時に、子どもの数や人口動態、西小学区の皆様の声を十分に聴いて、改めて統合について考えてまいります。
66	その他	若者が地方に残るには若者が大学に進学するかどうかポイント。大学進学5割以上の時代の中でなんとなく進学者も多いのでは。なんとなく大学に行く若者が多いほど、残らない、戻ってこないのでは。高卒就職の方が残る、仕事もある。中学校で決めた高校の進路が若者が残ることに影響することをもう少し親世代に伝えた方がいいのではないかと。	進学や就職を考えると時の選択肢となるよう、町内には多くの企業が立地いただき、安定した就労が期待できることを広く情報発信してまいります。
67	第六次竜王町総合計画	理念は分かるが、具体例が分からないので、イメージできない。「若者も」を強調されているが、他の市町と比較して魅力はどこなのか。	若者をはじめ、竜王町に関わる全ての人が住みたい、住み続けたいと思っていただき、在勤者など町外の若者からも魅力的な町と言われるよう、10年後のあるべき姿の実現に向け、しっかりとまちづくりを進めます。
68	竜王町コンパクトシティ化構想	基本的に賛成だが、財政だけです。公園をもっと大きくしてほしい。	中心核（交流・文教ゾーン）の整備は、国等の補助金や基金（積立金）、起債（借入金）により必要な費用を賄うこととなりますが、町の財政規模からは通常範囲内と考えていますので、事業費の抑制や可能な限り財源の確保を図りつつ計画の実現に向け着実に進めてまいります。 公園については、子どもから高齢者まで多世代が利用しやすい場所となるよう規模や配置等に工夫してまいります。
69	第六次竜王町総合計画	コロナ禍において消極的な意見もありました。10年後に向け、何も手を打たないというのはあり得ないと思います。積極的に推進願っています。	町全体のバランスの取れた発展と利便性が高く、多様な交流を育む中心核を整備することで町内外から魅力を感じてもらえるまちを創ってまいります。
70	竜王町コンパクトシティ化構想	学童、こども園、給食センターについても前倒しで新築を検討したいと思います。	交流・文教ゾーンの整備については、随時、最善の方法や最適な時期を考えています。学童保育所、こども園、給食センターについては、施設間の連携や財政計画等を考慮し、計画的に整備を進めてまいります。
71	竜王小学校の整備	中心核のシンボルとして非常に期待しています。リーディングプロジェクトとして加速願います。	今後も計画通り着実に進めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。
72	その他	様々なご意見を聞かせていただき、勉強になりました。懇談会は大変有意義な機会と感じました。	今回の懇談会では多くのご意見をいただきありがとうございます。今後もまちの情報を分かりやすく発信してまいります。
73	第六次竜王町総合計画	若者に希望を与える長期プランとしてすばらしい	今後も計画通り着実に進めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。
74	竜王町コンパクトシティ化構想	内外からも誇れる魅力あるアイデアの固まりに期待したい。すべき。	若者をはじめ、竜王町に関わる全ての人が住みたい、住み続けたいと思っていただき、町内外から魅力的な町と言われるよう、10年後のあるべき姿の実現に向け、しっかりとまちづくりを進めます。
75	竜王小学校の整備	子育て親達の意見を大いに入れてほしい。プロジェクトチームの結成も望む。	竜王小学校基本計画策定委員会では、保護者や児童、教職員等の意見を反映して計画策定を進めてきました。子どもたちの教育環境がより良いものとなるよう継続して検討してまいります。
76	その他	既存企業に竜王町の計画を大いにPRし、場合によっては参画も要請。特に生産年齢人口増加に期待	まちの魅力をさらに高め、人口減少の課題を克服し、将来にわたって竜王町が持続していくためには、行政はもとより、町民の皆さまや全地域、企業など町に関わる全ての人の思いが一丸となってまちづくりを進めなければ、その実現は難しいと考えます。そのためには、町内立地企業等で構成する竜王町経済交竜会をはじめ、企業の参画も促してまいりたいと考えます。
77	その他	今回の懇談会のような場を毎年進捗状況報告会をやってほしい。	今後も分かりやすい情報提供を行ってまいります。
78	竜王町コンパクトシティ化構想	よりわかりやすい言葉で説明がなされ、心配されている方に届きやすかったと思う。一般的に言われているものとは違うのに、「コンパクトシティ」という名が持つイメージがマイナスに働いているように思う。サブタイトルで「つながり力強化構想」とか入れて、中心だけ見てるのではないよと伝えられると良いと思う。	竜王町コンパクトシティ化構想は、竜王町独自の考え方で町全体の発展を掲げた構想であることを町民の皆さまにご理解いただけるよう、引き続き工夫をしながら情報の発信に努めます。
79	竜王小学校の整備	反対意見からは「子どもと暮らす世代」への思いは感じられなかった。若い世代の生の声がプラスに盛り込まれていると説得力が増すのでぜひ入れてほしい。	竜王小学校基本計画策定委員会では、保護者や児童、教職員等の意見を反映して計画策定を進めてきました。子どもたちの教育環境がより良いものとなるよう今後も若者や子育て世代等の意見をまちづくりに活かしてまいります。

No.	分類	質問・意見等	質問・意見に対する考え方
80	その他	<p>「もやもやしている住民が多い」と言い、住民投票の質問があったが、「もやもや」を数で決着させようとする考えは怖いと思った。反対の方も含め、全コミュニティスクールに関わる団体、地域の方などで円卓会議するとよいと思う。(2/22蒲生地区で開催された)</p> <p>「このまちで心豊かに住み続けたいと思えるまち」とするために何ができるかを考える。</p>	<p>まちの魅力をさらに高め、人口減少の課題を克服し、将来にわたって竜王町が持続していくためには、行政はもとより、町民の皆さまや全地域、企業など町に関わる全ての人の思いが一丸となってまちづくりを進めなければ、その実現は難しいと考えますので、賛否を取るのではなく、丁寧に情報を発信し、まち全体の機運を高めます。</p>
81	竜王小学校の整備	<p>竜王小学校は、築後51年により施設の老朽化が進み、コンクリート強度が劣化しているとの説明があったが、鉄筋コンクリート構造物校舎の耐用年数は60年であり、物理的には80年以上の耐久力がある。多くの公共施設が老朽化する中で、アセットマネジメントの観点から施設の新設より長寿命化による改修が一般的になっている。特にコンクリート構造物はその傾向が大である。</p> <p>また、少子高齢化、人口減少により竜王小学校の児童数は減少し、その傾向は今後も続く。校舎の著しい老朽化に加え、児童数の大幅な増加により既存の敷地では手狭であるならば、移転新築は理解できるが、児童数は半減し、今後も減少する中で、移転新築はすんなり腑に落ちるものではない。町は財政的に豊かであるとして移転新築としているのであろうが、考えをお聞きしたい。</p> <p>総合計画を進めるにあたりコンパクトシティ化構想がエンジンであるとの町長の説明があった。このことから、コンパクトシティ化の理にかなっていない計画は進められないと理解するが、コンパクトシティ化に基づき竜王小学校の移転と同時に西小学校を統合すべきである。当然、西小学校児童の利便性を低下させることから、統合に反対の意見があるが、コンパクトシティ化を実現するためには統合を進めるべきではないか。教育長から20年ほど経過すれば、統合が考えられるとの説明があったが、まさにそのころが、さらなる児童数の減少と校舎の老朽化により移転新築の時期ではないか。</p> <p>以上からアセットマネジメントの観点から施設の長寿命化を対策の最優先にすべきと考えるが、町の考えをお聞きしたい。そこで、一つの案として、使っていない教室があることから、教室を順次リノベーションしていくこと。学校の北側に工事ヤードを設け施工すれば、学校行事に制約なく、経費的にもかなり安価に施工できるはず。説明資料p31に温かみのある木質の教室の写真が添付されていたが、新築だからではなく、リノベーションでも十分可能。</p> <p>二つ目の案は、学校の西側を買収し、そこに校舎を新築する。この案も移転新設よりかなり安価になるはず。現校舎敷地が更地になることから、スクールバスの駐車場として利用が可能であり、仮設校舎もいらぬ。小学校の周囲の状況から連続した土地の確保が困難との記載があるが、1級河川であっても小河川であることから十分利用が可能である。</p> <p>上記2案により、説明資料P28の新築移転の効果は、説明がつかない。</p> <p>小学校建設費(コミュニティセンター含む)の概算事業費は30億円と記載されているが、本当に30億円で済むのか。コミュニティセンターの建設費は分離し、再度ゼロベースで上記の案との比較(事業費と町の負担額、施工時の安全性、事業可能性、施工性)により総合的に検討すべきと考える。説明会では比較検討資料の添付がなかったが、住民の理解を得るため公表していただきたい。</p>	<p>町内小学校の児童数は今後減少すると予測しておりますが、それにより学級数が大きく減っていくとは考えておりません。現在、小中学校1学級の定員は35人であり、35人を超えると2学級編制としており、70人を超えると3学級編制としております。また、近年、特別な支援を必要とされる児童が増えており、その児童のための学級設置にも適切に対応していること、また、算数科において学級の児童を2グループに分けて少人数指導(20人未満での指導)を実施していること、さらには外国語教室、多目的室を設けていることから、現在両小学校において、使っていない教室はございません。また、今後もそれぞれの教室は必要であり、両小学校において児童数減少による空き教室が増えてくるということは想定しておりません。</p> <p>学校の統合につきましては、地域の皆様のお考えや思いを尊重して慎重に進めるべきであると考えております。県内市町で学校の統合が検討されている、もしくは統合された例は、1学年が数名になり複式学級等になることが考えられる場合になっております。現在の推計では、令和10年頃竜王小学校は300人程度、西小学校は200人程度の児童数を見込んでおり、まだ統合を検討するような状況ではないと考えております。</p> <p>現在の西小学校は、西地区の防災、コミュニティの拠点として位置付けており、現時点で竜王小学校と西小学校を統合しての新築は考えておりません。今の時点で統合を視野に入れて検討を進めると、老朽化の激しい築50年を超える竜王小学校の新築は大変難しくなると考えております。</p> <p>今回の竜王小学校移転新築は、竜王町教育施設の今後のあり方検討委員会の検討結果(※)を踏まえ、町の中心核整備という竜王町コンパクトシティ化構想のリーディングプロジェクトとして位置付けて進めていくこととしております。</p> <p>なお、ご説明した費用については、現時点での試算であり、詳細は設計を進めて行く中で積み上げてまいります。令和4年度には、竜王小学校の基本設計・実施設計の発注を予定しておりますので整備内容等についてまとめましたら情報発信に努めます。</p> <p>※竜王町教育施設の今後のあり方検討委員会の検討結果では、施設の老朽化や校舎の配置上の課題を解決し、新しい時代の教育をコンセプトとし、これを実現できる教育環境を整えるためには、既存校舎の長寿命化改修では限界があるため、建て替えによる新築が求められるとされております。</p> <p>これを受け、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿命化改修ではなく、建て替えとする。</li> <li>・当面は竜王西小学校との統合は考慮しない。</li> <li>・防災・コミュニティ等の機能を併設した複合施設とし、他の教育施設の立地も想定しながら、学びと交流を生み出す。</li> <li>・現在の場所では敷地拡大に制限があることから、公民館・図書館等との相乗効果を期待し、中心核に建て替え</li> <li>・令和7年の開校をめざす。</li> </ul> <p>以上の5点を町の方針として固めております。</p>
82	竜王町コンパクトシティ化構想	<p>国交省が進めるコンパクトシティ化構想ではなく、町独自のコンパクトシティ化構想であるらしいが、理念は同じだろうか。統合、集約、集積により効率的なまちづくりにすべきと考えるが、説明資料の構想は逆行するようなまちづくりになっているところがある。町長が言われるように、竜王町には核となる地域が必要であり、役場周辺がその役割を果たすものと考えているが、そのためには民間活力の活用が必要。コミュニティセンターは核の一部になると思うが、小学校は核になるものとは言い難い。</p>	<p>竜王町コンパクトシティ化構想は、中心部だけを活性化するものではなく、町全体のバランスの取れた発展と利便性が高く多様な交流を育む中心核を整備することで町内外から魅力を感じてもらえるまちを創っていくことを目的としております。</p> <p>居住ゾーンおよび複合ゾーンの整備については、民間活力の誘導を図ることとしております。</p>

No.	分類	質問・意見等	質問・意見に対する考え方
83	その他	議会で小学校の新築移転について、コンパクトシティ化構想について質問や意見が出されないのか不思議です。町民に考えてもらうチャンスであり、町長に説明してもらえるチャンスをスルーするのかまったくわかりません。二元代表制を活用し熟議してほしいです。	竜王町コンパクトシティ化構想の内容については、その都度、議会へ報告しており、構想の実現に向けた必要な予算や取組方針等については、議会の各委員会等でもご審議いただいております。
84	竜王町コンパクトシティ化構想	私は最近このような思いが強くなりました。辛辣な言い方になりますが許してください。なかなか情報が入らない中、私たち信濃に住んでいる者は「コンパクトシティ化構想」、「コンパクトシティ化構想」と詐欺にかかっているように思えるのです。「コンパクトシティ化構想」といえば、特定の地域に特定の人たちに、特定の企業に竜王町の年間予算を超える町民のお金が使われる。蚊帳の外です。	竜王町コンパクトシティ化構想は中心部だけを活性化するものではなく、町全体のバランスの取れた発展と利便性が高く、多様な交流を育む中心核を整備することで町内外から魅力を感じてもらえるまちを創っていくという考え方です。そのため、必要となる投資を行ってまいります。また、既存の集落においても、地域の維持活性化に向け、必要な整備を行ってまいります。あわせて、更なる情報発信等に努めてまいります。
85	竜王町コンパクトシティ化構想	小学校跡地にどのような人たちを対象に住宅を建ててもらえるのか、また小学校跡地の開発を行いたいという民間の企業がおられるのか、跡地の売却金額はどれほどになるのか。何年後に宅地が売却済みになるのかなど具体的な内容はなにも私たちに知らされていません。あの土地は当時の綾戸の皆さんにより提供され、「竜王町は一つ」の思いで町民の寄付によって造成されたものです。無計画のまま放置して草が生える状態には絶対してほしくありません。「優良農地が多く、簡単に宅地にできない」のは理解しています。だからと言って「交流文教ゾーン」だけでも8.3haの優良農地を土砂で埋め立てて良いということにはなりません。優良農地を竜王町の資産にする取り組みを町民とともに考えることが必要になってきています。	若者をはじめ、竜王町に関わる全ての人が住みたい、住み続けたいと思える魅力的な居住ゾーンとして整備を進めるため、移転新築後の跡地利用については、町の大切な財産として、早期に活用が図れるよう並行して検討を進めてまいります。農地の無秩序な開発は抑制しつつ、計画的に土地利用を行っていくことが大切であると考えております。また、将来にわたって農地を維持するためにも一定の人口を維持することが必要であります。
86	第六次竜王町総合計画	宅地開発は、まずインターチェンジ周辺やIBMグラウンド跡地、松が丘、美松台、さくら団地などの空き地や空き家など官民が工夫して住民として生活してもらえるよう取り組んでほしいです。野洲駅や篠原駅、近江八幡駅へのバス路線の拡充や駐車場の確保と補助などできることを考えましょう。日野町はこの3月から「日野若者会議(仮)」を開きます。取り組みたい町の課題やアイデアを参加者から提案してもらうとのことです。青年団員との交流ならすぐできます。	ご意見のとおり既存の住宅地や空き地・空き家の利活用を並行して進めてまいります。あわせて、公共交通の充実をはじめとして生活の利便性を高める取り組みも継続してまいります。なお、第六次竜王町総合計画の策定にあたっては、町民意識調査の実施や審議会へ青年団、子育て世代の方々の参画をいただき、意見を伺ってきました。今後も若者の意見をまちづくりに活かしてまいります。
87	竜王町コンパクトシティ化構想	「交流文教ゾーン」の鳥観図が示されました。ワクワクする内容ではありません。小学校は生徒数の減が予想されるのか、現小学校の低学年棟がなくなっています。校舎・グラウンド敷地面積も約3haです。どのような内容のものかわからないコミュニティーセンターがあります。近くに公民館があります。こども園、給食センターの新築移転の計画は聞いていませんでした。しかもこども園はこの4月から幼稚園型として開園されますが、幼保連携型として令和10年度開園とあります。今子育ての家庭には遅すぎます。今すぐ幼保連携型のこども園にしてほしいです。	交流・文教ゾーンについては、竜王小学校、こども園、学童保育所、給食センター、コミュニティセンター、公園等を一体的に整備することにより、暮らしやすさの向上、防災力の向上、子どもの安全、施設間の連携、若者定住の促進をめざすものであり、これまでの広報等でもお知らせしてきました。また、こども園については、町内民間保育園とのバランスも考慮し、まずは幼稚園型こども園として開園したところです。今後は、既存の保育園との連携もしつつ、今日までの幼稚園教育の流れを考慮し、次の移転新築とあわせ、幼保連携型こども園を視野に入れ、検討してまいります。
88	竜王町コンパクトシティ化構想	安全な通学の支障となる東側の新設15m道路です。信濃の生徒は交通量の多い綾戸北信号を南に渡りすぐに西に横断し、そして新設15m道路を横断しなければ学校に入れません。綾戸内の道路が狭く通学に危険であることから新設されたとのことですが、登校時間7時30分から8時の間、下校時は、午後3時から4時30分です。何台の自動車はどこに向かう自動車が通行するのか調べ対策をしてほしいです。時間帯限定で進入禁止ができると思います。惣四郎川の左右堤防を一方通行で利用することも考えられると思います。	交流・文教ゾーンにおいては、子どもたちや利用者の安全を確保するため、ゾーン内の自動車の通行を制限します。このことからゾーンの周囲に新設道路を整備し、安全な通学路と利用者の車両アクセスを確保します。また、通学路となる周辺の道路についても児童等が安全に通学できるよう交通安全対策を講じてまいります。堤防を道路として利用する場合には、新たに車道や歩道の整備や安全対策等も必要となることから現実的でないと考えます。
89	竜王町コンパクトシティ化構想	600台以上の駐車場は広大で、公園もあります。そこに目立たずに駐車すれば小学生の登下校やプールの写真を撮影したり声掛けしたりすることも安易にできます。人工芝のサッカー場はできませんか。周辺の駐車スペースをうまく使えばとれるとおもいますが、近江八幡の小学校は芝のグラウンドだったと思います。	公園や駐車場の整備にあたっては、子どもたちや利用者の安全が確保できるよう十分留意するとともに維持管理も含め、整備手法を決めてまいります。サッカー場の設置は予定しておりませんが、小学生をはじめ多くの方々にご利用いただき、交流が深まる場となるよう整備してまいります。

No.	分類	質問・意見等	質問・意見に対する考え方
90	竜王町コンパクトシティ化構想	ガソリンの値上げなど生活必需品も上がっています。同じく生コン、鉄筋なども値上げしています。約55億円とする予算も当然膨らんでくるのは想像が付きまします。 なぜ2025年小学校の新築移転なのですか。物価上昇のため様子を見て、たとえば2028年ではだめなのですか。何か約束でもあるのですか。 そして若者の人口も減少してきます。「25～34歳の若年層で所得格差が拡大しており、所得500万円未満では子どもを持つ比率も大きく低下している。」内閣府ミニ経済白書（2022/2/7）とあります。若者の転入は難しい課題です。	平成23年に大規模改修ではなく、10年後に建て替えを議会で報告しています。これに基づき、竜王町教育施設の今後のあり方検討委員会の検討結果を受け、令和7年の開校を町の方針として固めております。 人口が減少を続ける今、若者をはじめ、竜王町に関わる全ての人が住みたい、住み続けたいと思っていただき、町内外から魅力的な町と言われるよう、10年後のあるべき姿の実現に向け、しっかりとまちづくりを進めます。
91	竜王町コンパクトシティ化構想	私たちにとってあこがれの自動車は2030年からEVになります。また太陽光発電などゼロカーボン。そしてSDGs（持続可能な開発目標）を実現する時代です。 EVコンセントや太陽光発電などに補助金を出して普及を先頭になって進めてほしいです。これはコンパクトシティ化構想の特定の地域だけでなく、全町民が対象になります。	再生可能エネルギーの活用やカーボンニュートラル、SDGsの取組など将来を見据えた地球環境保護への対応は、町にとっても重要な課題であり、町全体で取り組んでいくべきものと認識しています。
92	その他	コロナ禍で21年産米価が下落していると聞きます。「緑と文化の町」を保持するためにも22年産も下落したらJAと力を合わせて、1反10,000円の補助としても7800反程度なので7800万円程度です。特定の地域だけではありません。	農業を基盤として発展してきた本町において、持続できる農業は大変重要であることから、現在、農業者等の参画をいただき、将来の農業を見据えた竜王町農業振興ビジョンの策定に取り組んでいます。
93	その他	「教育は人です」低学年の20人程度の少人数学級の実現、英語を話す先生、音楽、体育の専門の先生を置くことを実施してほしいです。教育は個人の社会の財産です。 「世界銀行は新型コロナウイルス禍の学校閉鎖などによる学力低下で、生徒らが生涯通じて得られるはずだった収入を失い、世界全体で損出額が約2000兆円以上に上る可能性があるとの試算をまとめた。（2020/2/7 中日）」	町内小中学校は、全ての学級を35人以下にするとともに、算数科・科学科においては、20人以下による少人数で授業を実施し、児童生徒の学力向上に努めているところです。また、英語教育については県からの専科教員の配置の他、町費による英語日本人講師、外国語指導助手（ALT）を学校・園に派遣し、英語教育先進地として取り組みを継続しているところです。 さらに、小学校には県費による専科教員が配置されており、算数科や理科においてより専門性の高い指導に努めています。 なお、町内の学校では、制限や規模縮小はやむを得ないところですが、できる限りの感染症拡大防止対策を講じる中、令和2年6月以降学校閉鎖等の臨時休業をすることなく、継続して日々の教育活動を進めております。
94	その他	細部の設計・予算などわかり次第、町民から広聴して議会で審議してください。	令和4年度に交流・文教ゾーンの造成等の実施設計および竜王小学校の基本設計・実施設計の発注を予定していることから詳細な設計が完了後に予算を計上し、議会において審議いただきます。なお、整備内容や認められた予算については、広報等で引き続き発信してまいります。
95	その他	日野川の改修計画を早急に具体化してほしいです。弓削、西横関は5m以上の浸水がハザードマップに表されています。緊急の課題に向けて全力に取り組んでほしいです。	日野川の早期改修は、町としての最重要課題であり、日野川沿川で構成する日野川改修期成同盟会や関係地区で構成する日野川改修促進協議会を通して、国・県等に要望活動を行っています。善光寺川合流までの計画はありますがそれより上流については、県により河道計画を検討されています。時間はかかりますが進めてまいります。
96	第六次竜王町総合計画	住民投票をして町民の民意（賛成か反対か）をはっきりとすることが重要だと思う。	まちの魅力をさらに高め、人口減少の課題を克服し、将来にわたって竜王町が持続していくためには、行政はもとより、町民の皆さまや全地域、企業など町に関わる全ての人の思いが一丸となってまちづくりを進めなければ、その実現は難しいと考えますので、賛否を取るのではなく、丁寧に情報を発信し、まち全体の機運を高めます。
97	第六次竜王町総合計画	基本施策17高齢者福祉の充実⑤介護サービス等の充実において、コンパクトシティ化構想の中で、高齢者介護施設（特別養護老人ホーム等）の設置予定地についてもご検討はなされるのでしょうか。	中心核の整備において、高齢者介護施設（特別養護老人ホーム等）の設置については、現在、考えてはおりませんが、町全体を考える中で高齢になっても住み慣れた地域で安心して暮らすことができる体制を構築します。
98	竜王町コンパクトシティ化構想	交流・文教ゾーンの整備概要の中に「こども園」が位置付けられていますが、そのこども園におきまして「病児・病後児保育事業」が営まれていることによって子育て世代の就労家族にとっては親も安心して働けるとおもいます。	交流・文教ゾーンでのこども園整備にあたって、病児・病後児保育事業の実施については、現時点では検討に至っておりません。しかしながら、安心して子どもを産み育てられる環境づくりは、町全体の課題であると考えています。
99	その他	竜王町のまちづくりのイメージが更に湧きました。	今後も計画通り着実に進めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

No.	分類	質問・意見等	質問・意見に対する考え方
100	竜王小学校の整備	<p>町長をはじめ当局の皆さんには、日頃より町の発展にご努力頂きありがとうございます。また今回のコンパクトシティ構想について懇談会を開催頂きありがとうございます。</p> <p>竜王町は平成の大合併に参加せず独自の発展を目指して来ましたが、停滞が続いてきました。西田町長になって、工場誘致や各種の福祉政策が推進され評価できることが多くなっています。</p> <p>しかし、いま進められているコンパクトシティ化構想は壮大な計画です。こうした大きな事業には町にとって良い事業なのか悪い事業なのか町民にはなかなか理解できなく反対の立場をとる人も多くなります。この事業を成功させるには、町民に十分説明し、意見を聞き時には立ち止まって熟慮し、よりよい事業とすることが大事だと思います。</p> <p>また、西田町長は、約束をした事業は、途中でやめることなく、進めていく方だと理解しています。ここで今私が申し上げたいことは、次の事です。わかりやすく説明をお願いします。</p> <p>◎小学校の建て替えについて、現地建て替えと移転建て替えについて費用と効果をどのように検討されたのですか？</p> <p>現地建て替えの場合の費用、 ○運動場に新しい校舎を建てる場合、建築費、現校舎解体費用、整地費用＝合計費用 ○移転建て替えの場合、土地取得費、整地費、建築費＝合計費用 ○メリット、デメリット</p>	<p>まちの魅力をさらに高め、人口減少の課題を克服し、将来にわたって竜王町が持続していくためには、行政はもとより、町民の皆さまや全地域、企業など町に関わる全ての人の思いが一丸となってまちづくりを進めなければ、その実現は難しいと考えますので、丁寧に情報を発信し、まち全体の機運を高めます。</p> <p>【移転新築による効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎や体育館、プール、グラウンド等の一体整備により教育環境が向上</li> <li>・工事期間中の学校教育への影響が無く、仮設校舎が不要</li> <li>・スクールバスや送迎時に交通量の多い道路の横断がなくなり、安全の確保</li> <li>・教育施設が近接することで施設間連携が深まる。</li> <li>・周辺施設とあわせ、学校行事時の駐車スペースを確保</li> </ul> <p>【現地建替による費用】</p> <p>建築費：30億円、駐車場拡張整備：1.3億円、仮校舎費用：2億円＝33.3億円</p> <p>【移転新築による費用】</p> <p>用地整備：5.6億円、建築費：30億円＝35.6億円</p> <p>※2.3億円の差が生じますが居住ゾーンとして民間開発を誘導することにより、跡地の売却益が見込めます。</p>
101	竜王町コンパクトシティ化構想	<p>◎こども園の新築について</p> <p>○幼稚園の改修又は現地建て替えで対応はできないか、その費用は？</p> <p>○新規建築の土地取得費、整地費、建築費、現幼稚園校舎解体費＝合計費用</p> <p>○メリット、デメリット</p>	<p>建替え時における幼児の園生活や安全の確保が困難であり、将来的な幼保連携型こども園への移行も加味する中で小学校等関連施設との連携の深まりも期待できないことから現地での建替えは考えておりません。</p>
102	竜王町コンパクトシティ化構想	<p>◎給食センターの移転建て替えについて</p> <p>○現給食センターの建て替えの必要性及び改修又は現地建て替えで対応はできないか、その費用は？</p> <p>○移転建て替えの場合、土地取得費、整地費、建築費、現給食センターの解体費＝合計費用</p> <p>○メリット、デメリット</p>	<p>建て替えによる給食休止期間を避け、安全な給食を継続して提供する必要があることから現地での建替えは考えておりません。</p>
103	竜王町コンパクトシティ化構想	<p>◎新規建設地と苗村神社の間の15m道路の必要性について</p> <p>○惣四郎川の堤防の拡張で道路の設置ができないか？その費用は</p> <p>○新規設置の用地代と道路設計費用は？</p>	<p>交流・文教ゾーンにおいては、子どもたちや利用者の安全を確保するため、ゾーン内の自動車の通行を制限します。このことからゾーンの周囲に新設道路を整備し、安全な通学路と利用者の車両アクセスを確保します。堤防を拡張し、道路として利用する場合には、新たに車道や歩道を整備する用地や地盤高の調整も必要となることから現実的でないと考えます。</p>
104	竜王町コンパクトシティ化構想	<p>◎小学校・幼稚園の跡地の宅地化について</p> <p>○宅地造成の目的は、主な入居対象者は誰を考えているのか？</p> <p>*工場団地の従業員か？住居建築の希望はあるのか？</p> <p>*現住町民の移転居住を考えているのか？この場合は既存の集落の衰退がますます進むと考えるが対策はあるのか？</p> <p>*他市町から一般入居はみこめるのか？竜王町は他市町に住む住民が魅力ある町と考えているのか？</p> <p>○竜王町は転出人口が転入人口を上回っているが、この原因を分析し対応をしているのか？</p> <p>*町内には、空き家・高齢者の夫婦のみ・高齢者の単身所帯が大変多くなっている。私の住む集落でも全所帯の2割近くになっている。空き家・空き地の再利用のマニュアルはできているのか？</p> <p>*他市町で大幅に人口増加を成功させている町の対策を町職員や議員さんに研修させるなどして、その成果を分析し対応策を考えるなど必要である。（参考 北海道東川町他）</p>	<p>町内の若者が町外に転出することなく、町内に留まっていたことが大切です。</p> <p>また、転出の要因は、進学や就職、結婚等様々ですが、特に企業寮の入居者等については、町内で住居の確保が難しく、他市町へ転出されるケースも多くあります。これらの課題を解決する取組として、若者をはじめ、竜王町に関わる全ての人々が住みたい、住み続けたいと思えるよう、町内在住者や在勤者にとって魅力的な居住ゾーンとして整備してまいります。</p> <p>集落内の空き家や空き地の利活用については空き家バンクの活用などを図ってまいります。</p> <p>なお、本町でも活かせる先進的な取組みについては、積極的に取り入れてまいります。</p>

No.	分類	質問・意見等	質問・意見に対する考え方
105	竜王町コンパクトシティ化構想	◎土地買収費について ○土地収用については、竜王町が市街化調整区域に指定されており、緑と文化の町とうたっている中、必要性の乏しい土地を含めて、買収価格が1反あたり600万円から650万円と言われているが、竜王町の農地の実勢価格は1反あたり20～30万円と言われているのに比較して、非常に高いと考えます。コロナ禍において米価の引き下げが止まりません。過去の買収価格にとらわれず、一度立ち止まって再検討してはいかがでしょうか？ *この金額での用地取得は、今後のコンパクトシティ化構想の足かせとなるように思います。また、これに伴う起債額に大きな影響が出て人口減少化の中、住民が住民税負担に耐えられず、益々の人口流出につながるのではないかと思います。対応をお聞かせください。	必要な用地については、不動産鑑定士の評価を基に妥当な価格により取得します。 交流・文教ゾーンの整備は、国等の補助金や基金（積立金）、起債（借入金）により必要な費用を賄うこととなりますが、町の財政規模からは通常の範囲内です。 償還に係る財源は、企業誘致による新たな増収により賄えると考えておりますが、事業費の抑制や可能な限り財源の確保を図りつつ計画の実現に向け着実に進めてまいります。
106	竜王町コンパクトシティ化構想	概ね理解できました。計画どおり進めて行ってほしいと思います。ただし、居住ゾーンについては、地区と若者のとりあいにならないようにしてほしい。自治会も若者の定住を課題に議論しているところです。	今後も計画通り着実に進めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。 なお、町内の若者が町外に転出することなく、町内に留まってくることが大切です。そのためには、町だけでなく地域においても議論を重ね、暮らしやすい環境づくりに取り組んでいただければ幸いです。
107	その他	この中心核整備が集落の疲弊につながることはないよう、地区に対する援助を手厚くしていただけるよう要望します。	竜王町コンパクトシティ化構想では地域コミュニティの維持・活性化を取組項目に掲げ、地域コミュニティの柱である自治会の活性化を進めます。また各集落においても、地域の維持活性化に向け、必要な整備を行ってまいります。
108	竜王町コンパクトシティ化構想	用地取得はどのくらい進んでの？費用が高いと思うので、もし農業をしたくて反対している人がいるなら、他の近くの字の田を用地とするべきだ。住宅地でも、現在他の地域でも造成しても空き地になっている所が増えてきてます。魅力ある住宅として企業とタイアップすべきだと思う。（将来、空飛ぶ車とかドローン配達とかできるように電柱のない住宅地とするとか）	必要な用地については、不動産鑑定士の評価を基に妥当な価格により取得します。また、町内在住者や在勤者にとって魅力的な居住ゾーンとなるようご意見にもごさいますように民間活力の導入も誘導しながら整備してまいります。
109	その他	県・国からの補助金だけではなく、企業の実験研究できるまちづくりにして、企業からも支援金をもらえるようにしたいと思う。	町内には多くの企業が立地しており、税収増や雇用に加え、これまでも子育て支援や教育環境の向上等に対し、多くのご協力をいただいております。今後においても良好な関係維持し、まちづくりへの参画をいただきます。
110	第六次竜王町総合計画	今まで通りでなく、思い切ったことが必要である。	町内外から魅力的な町と言われるよう、10年後のあるべき姿「若者も暮らしたい希望かなえる輝竜の郷～心弾む新時代へのチャレンジ～」の実現に向け、しっかりとまちづくりを進めます。
111	竜王町コンパクトシティ化構想	小学校の跡地に住宅地を確保するというのを初めて知った。確かに住宅の確保が必要である。うちの息子も外の町に出そうですが、竜王町にもどって来てほしいです。	若者をはじめ、町内外の人が住みたいと思えるよう、魅力的な居住ゾーンとして整備してまいります。また、町の暮らしの良さをPRするシティプロモーション事業に取り組んでおりますことから専用のホームページやSNSを若い世代の方にご覧いただけるようお声かけをよろしくお願いいたします。
112	竜王小学校の整備	竜小はもちろん、その出口である竜中の充実もよろしくお願いいたします。	全国的に公共施設の老朽化が課題となっておりますが、子どもたちにより良い教育環境を提供できるよう計画的に改修等に取り組めます。
113	その他	県内でも魅力的な町になるように思い切った変換が必要であり、もっともっとPRすべきである。	町の暮らしの良さをPRするシティプロモーション事業に取り組んでおります。様々な機会を通して町の魅力を積極的に発信してまいります。
114	第六次竜王町総合計画	生産年齢人口の目標達成に期待します。	若者をはじめ、竜王町に関わる全ての方が住みたい、住み続けたいと思えるよう、10年後のあるべき姿の実現に向け、しっかりとまちづくりを進めます。
115	竜王町コンパクトシティ化構想	人口を増やすためには住宅地が必要。若い世代の移住を求めらるなら教育・子育て施策の充実が必要。どれも満たされることから、計画的にしっかり進めていただきたい。応援しています。	若者をはじめ、竜王町に関わる全ての方が住みたい、住み続けたいと思えるよう、ハード事業とソフト事業のバランスの取れたまちづくりを進めます。今後も計画通り着実に進めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。
116	竜王小学校の整備	西小と竜小の統合により、町内の全ての子どもたちに等しく優良な環境で教育を受けてほしいと願います。学校の整備も1/2になることから再度、検討をお願いします。	西小学校は、西地区のコミュニティの中心として捉えているので、大切に考えています。現在の子どもの数では統合する規模ではないことから、大規模改修時に、子どもの数や人口動態、西小学区の声も聴いて、改めて考えてまいります。

No.	分類	質問・意見等	質問・意見に対する考え方
117	その他	チョイソコの本格稼働に喜ばれている方も多いことと思います。ありがとうございます。	令和4年度から予約制乗合ワゴン「チョイソコリゅうおう」が本格運行となりました。会員登録や積極的なご利用をお願いします。
118	第六次竜王町総合計画	中心核は若者の居住地、工業団地社員の居住地も考えて、魅力的です。地域集落の空き家対策、田んぼに家を建てられず、他地域へ転出されるケースがあります。集住化とともに地域集落の課題にも手を打ってほしい。	若者をはじめ、町内外の人が住みたいと思えるよう、魅力的な居住ゾーンとして整備してまいります。土地利用の規制はありますが、集落内の空き家や空き地の有効活用についても取り組んでまいります。
119	竜王町コンパクトシティ化構想	魅力的なまちづくりとして賛成です。	今後も計画通り着実に進めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いします。
120	竜王小学校の整備	新築は賛成です。保護者が望むことは安全安心して教育を受けられることです。スクールバスの拡充や安全への配慮も強く進めてほしい。	今後も計画通り着実に進めてまいります。あわせて子どもたちの安全についても継続して取り組んでまいります。
121	その他	小児科を希望します。	安心して子どもを産み育てられる環境づくりは、町全体の課題であると考えています。高度な医療については、広域による体制の充実を図ります。
122	第六次竜王町総合計画	町全体の人口減少の対策としては理解しているが、現の各自治会は「持続可能なまちづくり」について大変苦勞をしています。（自治会役員の候補者の減少等）町としての考え方や対策が知りたい。	町では地域コミュニティ（自治会）の維持・活性化を重要な課題として位置づけ、改善に取り組んでまいります。また、町内の若者が町外に転出することなく、町内に留まってくることが大切です。そのためには、町だけでなく地域においても議論を重ね、暮らしやすい環境づくりに取り組んでいただけるようお願いいたします。
123	第六次竜王町総合計画	21-30年計画で本年は2022年に入り、より具体的な施策立案と実行計画の推進をしてほしい。	総合計画で示した3つの分野により具体的な施策の推進に努めます。また、進捗管理は大変重要であることからPDCAサイクルにより、社会の変化に柔軟に対応してまいります。
124	竜王町コンパクトシティ化構想	各々ゾーン、施設の建設を個々に進めぬよう一貫性を持って進める。	各ゾーンや施設の整備にあたっては、最善の方法や最適な時期を考えていますが、一貫性を持って進めます。
125	竜王小学校の整備	令和7年に開校の実現を確実にするため、着実な計画立案と実行	今後も計画通り着実に進めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いします。
126	第六次竜王町総合計画	竜王町の不便性をカバーするための教育、子育ての強い町づくり	中心核の整備により、利便性を高め、多様な交流を育むとともに教育の一層の充実と子育て環境の向上に努めます。
127	竜王町コンパクトシティ化構想	小学校の跡地を住宅地にするため、①八幡駅とのアクセスの強化、②宅地面積は少し大きめに。	公共交通の維持や道路網の整備等が計画的に進むよう促進してまいります。また、時代に即した魅力的な住宅地を整備します。
128	竜王小学校の整備	竜王町、百年の計 進めてください。県道の橋の改善	今後も計画通り着実に進めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いします。また、道路・橋梁等の整備が計画的に進むよう促進してまいります。
129	その他	農地、優良農地の集約と転用の推進	農地の無秩序な開発は抑制しつつ、計画的に土地利用を行っていくことが大切であると考えております。また、将来にわたって農地を維持するためにも一定の人口を維持することが必要であります。
130	第六次竜王町総合計画	竜王町においても、地球温暖化に伴う台風の巨大化、集中豪雨による河川の氾濫の確立が高まっています。日野川近隣の集落では台風シーズンになると安心して夜も寝れません。堤防が決壊しない対策を優先して取り組んでください。	日野川の早期改修は、町としての最重要課題であり、日野川沿川で構成する日野川改修期成同盟会や関係地区で構成する日野川改修促進協議会を通して、国・県等に要望活動を行っています。改修が進むよう継続して取り組んでまいります。
131	竜王町コンパクトシティ化構想	中心核と集落・団地を道路網等でネットワーク化を考えられてるようですが、町内には他に多くの施設が散在しています。これらの施設とのネットワークはどのように考えられておられますか。	中心核に限らず町内の移動の利便性を高めるための道路整備を計画的に進めてまいります。また、令和4年度から予約制乗合ワゴン「チョイソコリゅうおう」が本格運行となりました。会員登録や積極的なご利用をお願いします。
132	竜王町コンパクトシティ化構想	自治会機能の維持の一つとして、自治会集落センター（公民館）の平日の有効活用（健康づくり、生きがいづくり、喫茶機能、相談・研修機能等）と「チョイソコリゅうおう」の利活用として買い物、入浴、スポーツ施設、ふれあいプラザ等への外出支援の拠点として、中心核や町内各施設のネットワークを充実していただきたい。	予約制乗合ワゴン「チョイソコリゅうおう」は、高齢者の皆さんを中心とした外出支援の取組みでもあり、自治会施設での活動との連携も有意義な活用方法であると考えますので是非ご利用をお願いします。
133	竜王町コンパクトシティ化構想	自治会活動においては、神社仏閣関連の伝統行事の執行が足かせとなって、本来の自治会活動ができない実態があります。両者を各自治会に整理再編するように指導願いたい。	誰もが暮らしやすい地域づくりは大変重要です。そのためには、町だけでなく地域においても議論を重ね、暮らしやすい環境づくりに取り組んでいただけるようお願いいたします。町としても地域で考えていただくための情報提供等を行ってまいります。

No.	分類	質問・意見等	質問・意見に対する考え方
134	第六次竜王町総合計画	立派な総合計画を着実に実現して欲しいと思います。	今後も計画通り着実に進めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。
135	竜王町コンパクトシティ化構想	大局的な視点で強いリーダーシップで事業推進をよろしくお願いいたします。	今後も計画通り着実に進めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。
136	竜王町コンパクトシティ化構想	質問の中に（これではまるでニュータウン構想だ）という指摘がありました。私はそうかもしれない、それに近いな、と思いました。反面、これらは全て既存の建物であり、言っておられた箱物ではありません。老朽化から出発した構想だと思います。このようにあくまでも是々非々で、何でも反対ではダメだなとも思いました。ただ、チョイソコなど以外に現在68歳の高齢者にとっては、もっと行末の将来についても考えていただければ幸いです。この懇談会に参加して多大な意義がありました。	竜王町コンパクトシティ化構想は、中心部だけを活性化化するものではなく、町全体のバランスの取れた発展と町内外から魅力を感じてもらえるまちを創っていくことを目的としております。小学校やこども園の移転新築は、老朽化した施設の更新であり、これらとあわせてまちの魅力を高めることにより、特に若者の転出抑制を図ります。また、利便性が高く、世代を超えた多様な交流がはぐくまれるエリアづくりをめざしています。
137	第六次竜王町総合計画	将来に向けた新たな地方都市のモデルになる計画ですので、是非、実現していただきたいと思っております。若い人を呼び込むためにも京都、大阪に移動しやすい野洲駅へのアクセス強化が重要と考えています。	若者をはじめ、竜王町に関わる全ての人々が住みたい、住み続けたいと思えるよう、10年後のあるべき姿の実現に向け、しっかりとまちづくりを進めます。アクセスの向上に向け、公共交通の維持や道路網の整備等が計画的に進むよう促進してまいります。
138	竜王町コンパクトシティ化構想	人口減少社会の職・住・育の機能を備えたまちとして発展することを祈念いたしております。都市間競争の時代です。自然の人口減少にあらがう勇気を応援したいと思います。	今後も計画通り着実に進めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。
139	竜王小学校の整備	教育と防災、地域コミュニティとしてのまちの機能強化は重要と考えます。	今後も計画通り着実に進めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。
140	その他	鏡口がボトルネックになっており、渋滞が多発（通勤時間）しております。道路改良のご検討をお願いします。	竜王町コンパクトシティ化構想は中心部だけを活性化するものではなく、町全体のバランスの取れた発展をめざすものです。既存の集落においても、地域の維持活性化に向け、必要な整備を行ってまいります。
141	第六次竜王町総合計画	社会全体の変化の激しい中において、10年先を見通しての計画作成には大変な労力と大勢の皆さんの知恵と思いが入りこみ、すばらしいと説明をお聞きして感じました。	今後も計画通り着実に進めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。
142	竜王町コンパクトシティ化構想	中心核周辺はとっってもすばらしいコンパクトシティそのものだと思います。竜王町の北部に居住している者にとっては少し心の底から喜べないものがあります。	まちの魅力をさらに高め、人口減少の課題を克服し、将来にわたって竜王町が持続していくためには、行政はもとより、町民の皆さまや全地域、企業など町に関わる全ての人々の思いが一丸となってまちづくりを進めなければ、その実現は難しいと考えますので、丁寧に情報を発信し、まち全体の機運を高めます。
143	竜王小学校の整備	10年後の教育界を私なりに想像するとオンライン授業とかITの進歩によりロボットの導入も？！教育は知識だけに傾ず事はあってはならないと思うので、人と人、人と自然のかかわりを大切に環境づくりを！！	地域とともにある学校という視点を持ち、キラリと光る教育で竜王の人づくり・まちづくりを踏まえ、小学校の整備コンセプトを「竜王らしく キラリと輝く地域とともにある学校づくり」としています。
144	その他	「コンパクトシティ」は竜王西学区にも必要だと思います。インターチェンジ周辺も巻き込み、緑いっぱい山々を大切にしながら、「第2竜王町コンパクトシティ」も！！	今後も計画通り着実に進めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。なお、竜王インターチェンジは竜王町にとって大きな財産であると考えておりますので、周辺地域も含めた利活用についても、併せて進めてまいりたいと考えております。
145	その他	若者への周知と参加はいかがでしょうか。	第六次竜王町総合計画の策定にあたっては、町民意識調査の実施や審議会へ青年団、子育て世代の方々の参画をいただき、意見を伺ってきました。今後も若者の意見をまちづくりに活かしてまいります。
146	第六次竜王町総合計画	昔からの自治会に引き継がれる様々なしがらみ、役職からの脱却	誰もが暮らしやすい地域づくりは大変重要です。そのためには、町だけでなく地域においても議論を重ね、暮らしやすい環境づくりに取り組んでいただければ幸いです。町としても地域で考えていただくための情報提供等は行ってまいります。
147	第六次竜王町総合計画	両親との同居を嫌い家を出るが竜王町に住む場所の選択肢が無い。また、ダイハツ・工業団地の従業員が竜王町に住む場所の選択肢が無い。	町内の若者が町外に転出することなく、町内に留まっていたことが大切です。また、転出の要因は、進学や就職、結婚等々ですが、特に企業寮の入居者等については、町内で住居の確保が難しく、他市町へ転出されるケースも多くあります。これらの課題を解決する取組として、若者をはじめ、竜王町に関わる全ての人々が住みたい、住み続けたいと思えるよう、町内在住者や在勤者にとって魅力的な居住ゾーンとして整備してまいります。

No.	分類	質問・意見等	質問・意見に対する考え方
148	竜王町コンパクトシティ化構想	町全体がコンパクトであり、さらに大金を賭けて集中するメリットが無い。 そのお金を若者が竜王町に残る為の住まいの建設に使うべきである。	竜王町コンパクトシティ化構想は中心部だけを活性化 するものではなく、町全体のバランスの取れた発展を めざすものです。 また、整備にあたっては、効率的かつ効果的な施設と なるよう進めてまいります。 なお、竜王町においては、若者の定住を促すための支 援として、住宅新築・リフォーム補助や借家に対する 家賃補助を行っております。
149	竜王小学校の整備	耐用年数から考えて建て替えは止むを得ないが減少する児童数を考えて最小限のコストで考えて欲しい。今後、西小学校・中学校の建て替えも視野に入ってくるため。	将来の負担も鑑み、効率的かつ効果的な施設となるよう整備を行ってまいります。
150	その他	将来の竜王町のビジョンは当然大事であり、しっかり議論して前に進めていただきたい。	今後も計画通り着実に進めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。
151	その他	現状、団体・自治会等から出ている要望点についても前向きに検討願ひ、確かな回答をいただきたい。	竜王町コンパクトシティ化構想は中心部だけを活性化 するものではなく、町全体のバランスの取れた発展を めざすものです。団体・自治会等から出ているご要望 についても地域の維持活性化に向け、必要な整備を 行ってまいります。
152	第六次竜王町総合計画	個々具体的に記載するようになっていますが、共に連動する内容ですので、全体的に書いておきます。 第6次竜王町総合計画はあらゆる側面から書かれ、描かれている世界は夢のような別世界のイメージしかありません。今、社会はコロナウイルス感染（パンデミック）や地球温暖化で大きなエポックにきています。おそらく人々は新しい世界観・時代感覚で生きなければならなくなるでしょう。そのような時代の先を見越した取り組みをするならば、もう少し小さな力で、ちょっとした改革が進まないと、大きな事業をした場合、思惑と全く違って取り返しのつかない事態にもなるでしょう。私は、今、多額の金を使って大型事業をすることには、どんな説明があつたにしても賛同できません。 メイン事業であるコンパクトシティ化構想は全体像を見るだけでも竜王町にとっては巨大開発事業です。人口の減少を食い止めたいという趣旨は理解できます。しかし、10年後、日本の地域行政がどのようになるのか予想できません。たぶん、この事業を推進する人たちは、未来の地域社会が描かれていて、その中で竜王町の存続発展を願っての推進だと思いますが、国の方針はぶれまくっています。一寸先は闇で、一気に方針転換となるかもしれません。そういう時代を生きているんだと思います。学者が言った「政府が型をはめた地方創生ではなく、自分たちで考え、作り上げる地方再生の新時代」とは、そういう社会背景の中で、各自治体の職員さんとそこに構成される住民（町民）の想像力と叡知で未来を切り開いて下さいという意味だと思います。 重ねて言いますが、多額の金を使わず、地域独自の想像力で住みよい地域社会を作ることが最も大事なことだと思います。この時期、財政的に余裕がある最適な時だとしても、それを推進することは極めて危険です。	竜王町コンパクトシティ化構想は、国の考え方とは異なり、竜王らしく町全体のバランスの取れた発展と町内外から魅力を感じてもらえるまちを創っていくことを目的としております。 小学校やこども園の移転新築は、老朽化した施設の更新であり、これらとあわせてまちの魅力を高めることにより、特に若者の転出抑制を図ります。 まちの魅力をさらに高め、人口減少の課題を克服し、将来にわたって竜王町が持続していくため、行政はもとより、町民の皆さまや地域、企業など町に関わる全ての人の思いが一丸となってまちづくりを進めてまいります。
153	その他	この懇談会の機会を与えていただいたことに感謝します。運営していただいた皆さん方、お疲れさまでした。	今後も丁寧な情報の発信に努めてまいります。
154	その他	有意義な時間でした。大いに期待しております。	今後も計画通り着実に進めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。
155	その他	竜王町の出生率は年間100人以下となり若者が竜王に帰ってきても住む家がない。収入が少ないので新築は無理、アパート暮らしで一人部屋がほしい。安い空き家が近くにないのか。町は空家情報バンクを開設するとのことだが、地域の空き家は何件あるのか。各自治会長、区長さんをお願いし、管理は誰がしているのか等把握する必要があると思う。若い人が転入届を出した時、出生届けをした時、子育てサロンや乳児検診時に住居の問題等の相談やファミリーサポートの立ち上げ等が必要と思う。出産祝い金、就労支援なども必要と思う。	人口が減少する中、町内出身の若者が町内に居住いただくことは大変重要な課題です。 また、町内で住居の確保が難しく、他市町へ転出されるケースも多くあります。 これらの課題を解決する取組として、新たな住宅地の整備や集落内の空き家や空き地の利活用について、空き家バンクの活用などを図ってまいります。なお、地域の空家や空き地の情報については、毎年、区長様に調査を依頼し、状況の把握に努めています。 あわせて、経済的、精神的に子育て世帯を支援する取組についても充実を図ってまいります。

新時代へのチャレンジ！輝竜の郷づくり懇談会での意見や質問と町の考え方（順不同）

【会場でいただいた意見 27件】

2022. 6. 1

No.	分類	質問・意見等	質問・意見に対する考え方
1	竜王町コンパクトシティ化構想	広報12月号で人口減少のグラフがある。人口減少の原因分析を行ったのか。その解決をコンパクトシティ化構想につなげてよいのか。	人口減少の要因分析は行っています。人口減少の大きな原因としては、住む所がないことがあげられます。また、利便性や魅力を高める必要があります。10年前までは年間100人ぐらいの子どもがいましたが、現在は70人～80人位の出生数となっています。
2	竜王町コンパクトシティ化構想	15年間で約1,000人減少している。アンケートも今年1月から、少子化対策として全国的には子育て支援を充実させること。ハード事業のコンパクトシティ化構想は焦点がずれているのでは。	人口減少の要因について、更なる深堀は必要ですが竜王町の魅力を高めなければ、人を留め、人を呼び込むことはできません。そのために竜王町コンパクトシティ化構想がございませう。
3	第六次竜王町総合計画	本町の人口減少は統計上の数値よりも悪い数値となっている。想定よりも悪く進んでいる。	危機感をしっかりと持たなければなりません。また、そのことに対応する施策が必要であり、その一つに竜王町コンパクトシティ化構想がございませう。
4	竜王町コンパクトシティ化構想	1反あたりの買い取り価格が600～700万円と聞いている。買い取り価格は、どのように決まっているのか。平和堂はリースとしているが借地ですることは無理か。	土地鑑定士の評価を基に価格を決定しており、第3者が見ても納得いく価格としています。公共施設の土地をリースで取得することは一般的ではありません。小学校は建設後最低でも40年から50年は使用するのので、買い取りがベストと考えています。
5	竜王町コンパクトシティ化構想	本町のコンパクトシティ化構想が国のものではないことがよく分かった。中心核だけが良くなるのではなく、周辺集落も含め全体が良くなることが分かった。これから、高齢者が増えていくので、中心核にも高齢者の要素（憩いの場など）を入れていただきたい。コンパクトシティ化構想のネーミングがどうしても中心核構想と捉えてしまう。	庁舎改修の中で福祉部門の一元化を考えています。中心核整備によって高齢者等にも力を与えるものとなるように頑張っていきます。
6	第六次竜王町総合計画	小学校跡地を住宅化する方向性は理解した。竜王町は、いいところで住みたいが住む所が無いとよく聞く。土地利用の問題がある。土地利用の転換が難しいことが課題	大変、ハードルが高い課題です。圃場整備、農振農用地（青字）の転用は特に難しい。その中でも農地を守りつつ、メリハリのついた土地利用を行っていく。令和3年度・令和4年度が国土利用計画、都市計画マスタープラン、農業振興地域整備計画など土地利用の計画の変更時期となっていることからしっかりとそれらの計画に反映していきたい。土地利用については、本町は過去に農業で頑張ってきたがまちづくりの観点から地域を守るためには人口を一定維持し、活力を維持していく必要があります。県が認めてくれるよう引き続き、頑張っていきたいと思います。
7	竜王町コンパクトシティ化構想	浸水想定について、200年に1度の確率の豪雨となっているが、最近では1000年に1度の雨量となっている。想定が甘いのでは。2015年に水防法が改正され、それまでの200年確率降雨が1000年確率降雨になりました。たとえば、北陸地方では時間雨量100mから130mになりました。（近畿地方は調べてください）	これからの設計業務や工事発注の中でさらに検討させていただきたいと考えます。日野川については、1000年に1度の雨量による浸水想定がされていますが、内水氾濫を加味した滋賀県地先の安全度マップ（200年に1度の雨量を想定）の方が浸水深が深くなることから、この想定を見込んだ対応をいたします。
8	竜王小学校の整備	小学校建設について、子どもの数が減少しているので、規模を縮小すべきではないか。西小との統合はしてほしくない。	西小学校は、西地区のコミュニティの中心として捉えているので、大事にしていきたい。小学校の規模について、子どもの数は減っているが、特別支援が必要な子どもが増えており学級数は減っていません。また、少人数での指導など、現状でも部屋は空いていない状況であります。今後も見据え、必要な学級数を確保してまいります。
9	竜王町コンパクトシティ化構想	小学校の他に、子ども園、給食センターなどトータルの整備費用55億円は、ほぼ年間予算と同額である。通常、小学校の建替えは現地立替で行うのではないか。	55億円の内、約25%を国や県の補助金、約10%を積立金（貯金）と考えており、町の負担は60～65%を考えています。それについては、起債（借金）を考えおり、30年償還で年間1.5億円程度、現在の償還額が年間約4億円程度でそれにプラス1.5億円となり、全体予算の約1割程度を見込んでおり、本町の体力からは、十分返済が可能であると考えております。現地立替えの場合、敷地の拡大が難しく駐車場の確保ができません。また、幼稚園と小学校の間に通過車両が多い県道が通っているので、安全面に不安があります。現地立替えと移転新築の場合、現地立替えの方が2億円程度安くなりますがそれよりも移転するメリットの方が大きいと考えました。幼稚園や給食センターも老朽化しており、いずれ建て替えを行わなければなりません。それであれば、集約によりコストダウンをすべきであると考えています。

10	その他	周りに住んでいる者は、中心核についてあまり関心がない。それよりも、西幼稚園の跡地利用、国道8号、道の駅の活性化、日野川の改修について、議論して解決していただきたい。	中心核は竜王町全体のことであり、興味をもっていたきたい。北部、東部もなんとかしないといけないと考えています。日野川の改修については、善光寺川合流箇所までの計画がございすが、それより上流については、県にて河道を検討しており、ルート決定を早くする必要がございすが、西幼稚園の跡地は、学童保育所としての利用を考えています。それ以外の有効活用についても引き続き検討してまいります。道の駅についても連結する道路を検討しています。東部の発展についても中心核整備と合わせて町全体のバランスある発展をめざしてまいります。
11	その他	このような機会には、企業の方も多く参加いただけるよう工夫していただきたい。竜王町に引っ越すメリットを教えてください。	まちの魅力発信として、シティプロモーションを展開しています。アイデア程度の精度であるが、道の駅周辺に企業保育園ができないかも考えています。今年度から、ダイハツ工業と協力してダイハツ竜の子ファミリー車提供制度を開始しています。この制度は、3年間、ダイハツ車両を無料で借りられるものがあります。もっと、PRしてまいります。
12	竜王町コンパクトシティ化構想	若者に向けてのキャッチフレーズ、目玉を作っていただきたい。中心核整備には歴史的なものもしっかりと残していただきたい。	竜王町の教育の良さは、きめ細やかさであります。歴史・文化もしっかりと引き継いでまいります。
13	竜王町コンパクトシティ化構想	情報が入らないので、分からない。手紙から、6点。あり方検討ではどのような内容が検討されたのか。小学校を壊すのは早いのでは。西小との統合は。他の場所は検討されたか。費用が大きい、危険では。コロナ禍であり、計画をストップすべきでは。	竜王町コンパクトシティ化構想は、町民の意見を聞きながらまとめてきたものです。検討内容は、集落も含めて町全体の活力をどう維持していくかであり、国や県の関係者にも入っていただいて検討してまいりました。人口減少の原因は土地利用の問題で住む所がないことあります。今の竜王には住む場所を作る必要があり、いろいろな縛りがある中で今の竜王に必要で、現実的なものが竜王町コンパクトシティ化構想です。今後ともご意見を聞かせていただき、理解と賛同を得て進めてまいります。
14	竜王町コンパクトシティ化構想	児童数が減少しているが、西小との統合は反対があつて無理。今後の施設の維持管理をどう行うのか。どのような災害を想定して、防災機能を考えているのか。交流・文教ゾーン以外の部分も含めてトータルでいくらかかるかを示さないと妥当性の判断が難しい。	子どもの数が減るから学級が減るとは限りません。竜王小学校の躯体は弱っています。コンパクトシティというネーミングがどうしても国のいうコンパクトシティをイメージしてしまい、分かりにくいのご意見もいただきました。竜王町の考えるコンパクトシティ化構想は国の考え方とは違いますので、誤解の無いよう丁寧に説明することが大事です。地元からも小学校を移転新築した後、いつまでも現在の学校が残ることのないよう、早く次の段階に進んでほしいとの意見をいただいております。想定している災害は、洪水と大地震であり、災害時には、駐車場や小学校が避難所としての機能を高めるよう、充実してまいります。交流・文教ゾーン以外は、民間活用を考えており、どのように民間を誘導してくるか、検討が必要です。町の想いを汲んで民間に整備していただきたい。整備に当たっては、インフラ整備などを町が行う必要もあります。
15	竜王町コンパクトシティ化構想	現地立替えと移転新築の比較を検討されたか。跡地利用の住宅について、今、集落にいる人がそこへ行くと集落が廃れてしまう。土地の購入費用については、どのように決定されるのか。	現地立替えと移転新築の費用では、計算上約2.3億円程度現地立替えの場合の方が安いですが、金額以上に移転新築のメリットが高いと考えましたので移転新築としました。跡地の住宅は、町外へ出て行っている人を留めるとともに町の魅力を高め、起業する人など、外から人を呼び込むためのものと考えています。土地の価格については、不動産鑑定士の鑑定価格により設定しており、誰が見ても妥当な金額といたしております。また、その鑑定価格は宅地として評価しており、個人の田んぼの取引とは異なります。
16	第六次竜王町総合計画	障がい者も住みよい町となるよう、ユニバーサル社会の推進。障がい児や障がい者をどう位置づけるのか。	非常に大事な視点であり、特別支援学級の配置、規模についても引き続き研究してまいります。交流・文教ゾーンへは車を入れないようにしているので、子ども達の安全が確保されます。また、役場の福祉部門の窓口一元化ができないかを考えており、別館改修と合わせて、全体のレイアウトを考えています。中心核に福祉ゾーンができないかという意見もいただきました。十分に配慮しながら、進めてまいります。
17	竜王町コンパクトシティ化構想	竜王町コンパクトシティ化構想を争点に住民投票を行う気はあるのか。	竜王町コンパクトシティ化構想の内容は、どれもいざれしなければならぬことであり、意見を聞きながら進めてまいります。これの是非を聞くことは考えておりません。

18	第六次竜王町総合計画	岡屋の人口も減少している。各字それぞれの人口をどのように考えているのか。何人増やすとかを考えているのか。	住む場所を提供する必要があります。住宅がないことは、町の長年の課題であり、竜王町コンパクトシティ化構想を契機に住宅地を整備することで人口減少問題の解決につなげていきたい。
19	第六次竜王町総合計画	防災・減災対策について、年々危機的な状況となっている。竜王町の場合、洪水被害である。弓削でも明治27年に日野川が決壊した。流域まちづくりを進めてほしい。	日野川の河川改修については、最重要課題であり、町独自の要望とあわせ、関係市町と連携して要望活動を行っています。善光寺川合流までの計画はありますがそれより上流については、県により河道計画を検討されています。時間はかかりますが進めてまいります。
20	竜王町コンパクトシティ化構想	費用について、コロナの関係で材料費が高騰している。費用が増加する場合はどうするのか。また、国、県の補助金をどの程度見込んでいるのか。	費用については、1年位前の試算です。実際は設計や工事を進めて行く中でしっかりと積み上げてまいります。補助金は全体の約25%を見込んでおり、補助金以外が町の負担（貯金・借金）となります。約6割（30～35億円）を借入金としており、年間1.5億円程度の返済が必要となりますが十分返済できる規模であります。町の負担を減らすためにも、もっと補助金を取れるよう国・県へ働きかけてまいります。
21	竜王小学校の整備	町民に今の竜小の実態を知ってもらう必要がある。古く、旧式の学校である。今の小学校が建設されたときは、これからの竜王町を担う子ども達を大切にしたい。人間性豊かな子どもを育てる。人材育成。令和7年は150周年、皆の想いが一丸となったものになるようにしていただきたい。	教育がめざすべきものを捉えた非常に大事なご意見であります。現在の状況が十分に伝わっていないことは反省すべき点です。西小は築30年であり、教室の横に廊下があり、さらにその横にワークスペースがございりますが、竜小にはワークスペースがありません。これからも関係者のご意見を賜りながら進めてまいります。
22	竜王町コンパクトシティ化構想	西小学校との統合も検討いただきたい。持続可能な自治会についても検討いただきたい。	西小との統合については、民意を大事にさせていただきたい。現在の西小の子ども数では統合する規模ではなく、西小との統合も検討すると開校までにさらに時間を要します。西小の大改修時に改めて子ども数や人口動態、西小学区の声も聴きながら、立ち止まって考えてまいります。自治会については、以前、モデル地区を設けて支え合いの取組を行っていただきましたが、現在は、庁内で自治会のあり方について検討を重ねています。
23	竜王町コンパクトシティ化構想	コンパクトシティ化構想の内容が十分わかった。建物だけでなく、中身も充実する必要がある。中学校のことも考えていただきたい。	魂をしっかりと入れてまいりたい。心も体も豊かにしてまいりたい。庁内では中学校や公民館など教育施設全体の検討もしており、引き続き検討を進めます。
24	竜王町コンパクトシティ化構想	ニュータウン構想に思える。千葉県流山市、住み続ける価値がある施策をしている。コロナ対策が最優先であり、計画を見直す必要があるのではないか。急ぐ必要があるのか。なぜ、こんな広い土地を収用する必要があるのか。	一般的な概念のコンパクトシティとは異なります。本町では、平和堂ができて役場周辺が便利になった。教育施設の整備は、いずれしなければならないことで、一か所に集約した方が便利となります。財政が比較的安定している今やらなければ、いつやるのか、先延ばしするのか。子ども達へ良い教育環境を提供してまいりたい。
25	竜王町コンパクトシティ化構想	総事業費55億円の内、補助金と借金はいくらぐらいか。浸水対策について、盛土造成をしようとしているが、薬師の場合、避難所が中学校となっており、川を渡っていけない。災害時に嵩上げした所へ行けるのか。	補助金は約25%を見込んでおり、町の貯金が約10%、町の負担は60～65%であり、30～35億円を借り入れる予定です。3年据え置き30年償還の場合、償還額は、年間約1.5億円となります。年間予算が約60億円であり、他の償還とあわせると約10%が返済となります。いずれやらなければならないことであり、遅れることのないよう進めてまいります。また、防災計画を見直し、避難所も随時見直していく中で、体育館や共用駐車場等を避難所として活用します。
26	その他	西小との統合は考えていないということであるが、西小の改築はどのように考えているのか。全国的に水道管の老朽化が問題となっているが本町の場合はどうか。	西小は築30年、通常築40年で長寿命化をすることとなります。西小の場合、令和10年頃に改修が必要となります。大規模改修を前提として考えていますが検討に当たっては民意が大事であります。西小は西地区のコミュニティの拠点であり、非常に大切な場所と捉えています。統合する場合でも、十分なスペースを確保できるよう竜小の移転新築の中で検討しています。
27	その他	言葉尻や目先にこだわらず、大局的な判断が必要であり、機会を捉えて説明会を開催し、対話が必要。大規模なプロジェクト、時間軸を意識して、ロスがないよう強力なリーダーシップのもと、進めていただきたい。10年先を見据えたプロジェクトであり、世の中の動きを先取りした実施をしてほしい。世の中は、リアルタイムに変化しており、地域間競争も激化している。	今後も計画通り着実に進めてまいりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。また、PDCAサイクルにより、社会の変化に柔軟に対応してまいります。